



# ラッシュを避けて スムーズに通勤!



朝の渋滞! 困っていませんか?

渋滞を緩和する取り組みとして、**交通需要マネジメント**（Transportation Demand Management）があります。これは、車利用者の交通行動の変更を促すことで交通量の抑制や調整を図り、渋滞を緩和する方法です。“いつもの”通勤方法を変えることで、「スムーズに通勤」できるだけでなく、渋滞の緩和にもつながります。

## スムーズ通勤 のための

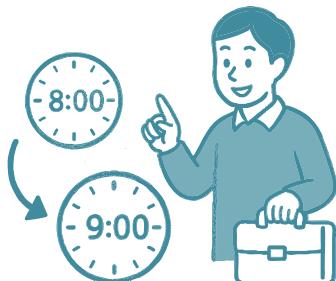
# TDM 5つの行動

TDM（交通需要マネジメント）

### 01 時間の変更

具体的な取り組み

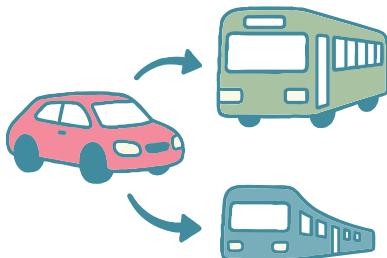
- ・時差出勤
- ・フレックスタイム制度
- ・始業時間の変更



### 02 交通手段の変更

具体的な取り組み

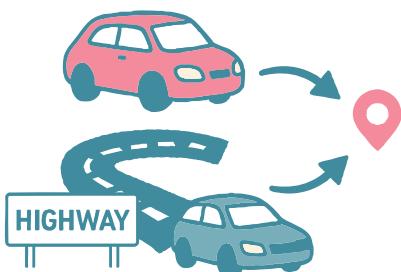
- ・マイカーから公共交通への変更
- ・マイカーから自転車への変更
- ・マイカーから徒歩への変更



### 03 経路の変更

具体的な取り組み

- ・一般道から高速道路への経路変更



### 04 発生源の調整

具体的な取り組み

- ・テレワーク
- ・在宅勤務



### 05 自動車の効率的利用

具体的な取り組み

- ・相乗り



## TDM を支援するサービス

### 平日朝夕割引

NEXCO 西日本では、ETC 料金平日朝夕割引（ETC マイレージサービス限定）実施中です。



事前登録

翌月還元

「フレックスタイム制度」「テレワーク」「在宅勤務」は、多様な働き方選択のために導入が進んでいる

『新しい働き方』の1つです

# TDMに取り組むメリット

## 会社のメリット

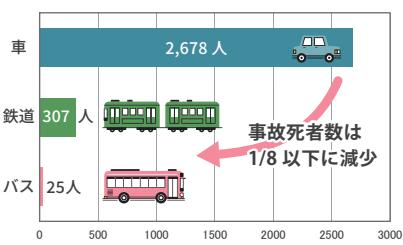
### ① 従業員の健康管理

体力・筋力の維持、増進に役立つため、従業員の健康安全管理につながります。



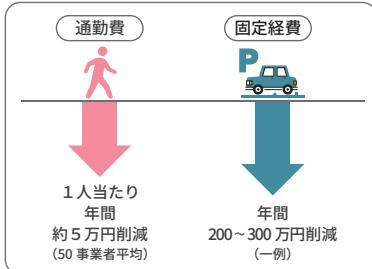
### ② 従業員の交通安全

公共交通を利用すれば自分が事故を起こす、事故に巻き込まれる確率が下がります。



### ③ 駐車場経費等の削減

駐車場を削減することで整備・維持費用が不要となり企業の経費削減につながります。

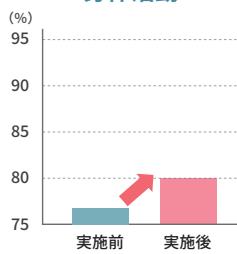


### ④ 生産性の向上

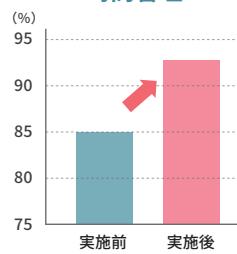
時間管理や集中力、対人関係、仕事の成果など、生産性の向上が期待されます。



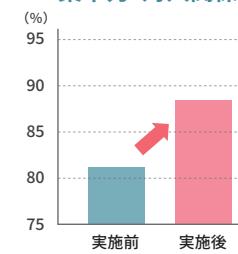
身体活動



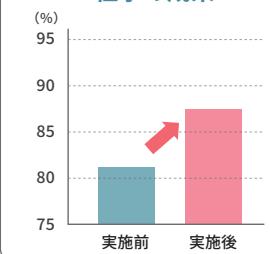
時間管理



集中力・対人関係



仕事の成果

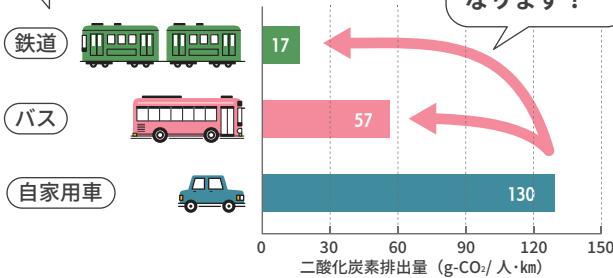


## 地球環境への貢献

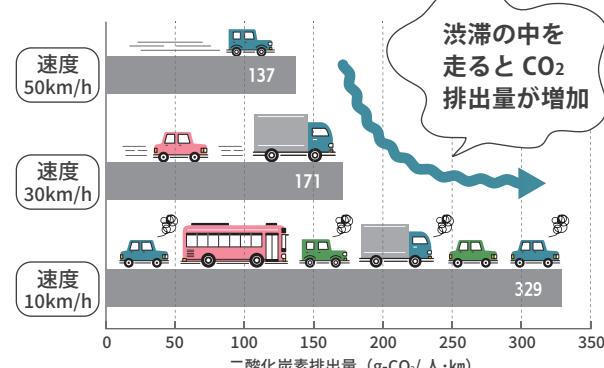
TDMの取り組みは、CO<sub>2</sub>排出量の削減にもつながります。  
国際社会の一員として、地球温暖化防止に貢献できます。

### ⑤ CO<sub>2</sub>排出量の削減

公共交通は、環境にやさしい



CO<sub>2</sub>排出量が  
グッと少なく  
なります！



渋滞の中を  
走るとCO<sub>2</sub>  
排出量が増加